

平成 26 年度事業計画 (平成 26 年4月1日から平成 27 年3月31日)

1. 定期講演会の実施

在家者に対する仏教思想普及に関する定期講演会については、本年度は以下のような事業を実施する。

- ・会場 全国8カ所(東京都千代田区、大阪市、名古屋市、福岡市防府市、宇部市、札幌市、仙台市)
- ・開催回数 69回
- ・来場見込(予定) 2,785名

定期講演会8会場の詳細は次のとおり。

(敬称は略します。順不同。講師の方々は予定者を含みます。)

1) 東京会場(原則として毎月第2及び第4土曜日午前10時から 東京都千代田区大手町一丁目・大手町ビル5階513号室)

- ・開催回数 20回
- ・来場者見込 1,500名

開催日

4月26日、5月10日・24日、6月14日・28日、7月12日・26日
9月13日・27日、10月11日・25日、11月8日・22日、12月13日
1月10日・24日、2月14日・28日、3月14日・28日

講師

奈良康明(曹洞宗大本山永平寺西堂)、石上善應(大正大学名誉教授)
池田魯参(駒澤大学総長)、蓑輪顕量(東京大学教授)
杉谷義純(大正大学理事長)、ケネス田中(武蔵野大学教授)
島藺進(上智大学教授)、田上太秀(駒澤大学名誉教授)
本多静芳(浄土真宗本願寺派万行寺住職)ほかの方々

2) 大阪会場(原則として毎月第4金曜日午後3時から 大阪市北区堂島一丁目・堂島アバンザ14階)

- ・開催回数 10回
- ・来場者見込 500名

開催日

4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、9月26日、10月24日
11月28日、1月23日、2月27日、3月27日

講師

山田法胤(法相宗大本山薬師寺管主)、田代俊孝(同朋大学教授)
奈倉道隆(聖隷クリスファ大学大学院教授)、幹栄盛(天台宗鶴林寺長老)
西山厚(帝塚山大学教授)、池見澄隆(佛教大学教授)、ほかの方々

3) 名古屋会場(原則として毎月第3水曜日午後1時30分から
名古屋市中区丸の内三丁目・いちご丸の内ビル9階)

- ・開催回数 10回
- ・来場者見込 300名

開催日

4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日
11月19日、1月21日、2月18日、3月18日

講師

衣斐弘行(臨済宗大泉寺住職)、加藤祐伸(真宗大谷派光専寺住職)
亀井鑛(元同朋新聞編集委員)、立川武蔵(愛知学院大学教授)
青山俊董(愛知専門尼僧堂堂長)、上沼雅龍(臨済宗長福寺住職)ほかの方々

4) 福岡会場(原則として毎月第4金曜日午後3時から
福岡市中央区博多駅前・福岡センタービル13階)

- ・開催回数 10回
- ・来場者見込 250名

開催日

4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、9月26日、10月24日
11月28日、1月23日、2月27日、3月27日日

講師

太田心海(浄土真宗本願寺派正行寺住職)、村上大朗(浄土真宗本願寺派布教使)
田畑正久(医師・龍谷大学教授)、菊城淳真(浄土真宗本願寺派普賢寺住職)
平兮宗賢(臨済宗乳峰寺住職)、神原玄應(天台宗大興善寺住職)ほかの方々

5) 防府会場(原則として隔月第2水曜日午後1時30分から
山口県防府市・地域協働支援センター)

- ・開催回数 5回
- ・来場者見込 50名

開催日

5月14日、7月9日、9月10日、11月12日、3月11日

講師

児玉識(浄土真宗本願寺派円通寺住職)、森江俊孝(曹洞宗天徳寺住職)
小林正純(曹洞宗極楽寺住職)、橋本隆道(曹洞宗護国寺住職)ほかの方々

6) 宇部会場(原則として隔月第2金曜日午後1時30分から
山口県宇部市・宇部市文化会館ほか)

- ・開催回数 5回
- ・来場者見込 75名

開催日

5月9日、7月11日、9月12日、11月14日、3月13日

講師

波佐間正己(浄土真宗本願寺派正隆寺前住職)

長岡裕之(浄土真宗本願寺派龍雲寺住職)、松原徹心(曹洞宗光善寺住職)

岩田啓靖(曹洞宗大寧寺住職)有福孝岳(京都大学名誉教授)ほかの方々

7) 札幌会場(原則として隔月第3金曜日午後3時から

札幌市中央区大通西・井門札幌パークフロントビル4階)

- ・開催回数 5回
- ・来場者見込 50名

開催日

5月16日、7月18日、9月19日、11月21日、3月20日

講師

金石晃陽(真宗大谷派光福寺住職)、石飛道子(北星学園講師)

高畑俊孝(真言宗丸山寺住職)、巖城孝憲(札幌大谷大学学長)ほかの方々

8) 仙台会場(原則として3か月毎第2金曜日午後2時から

仙台市青葉区・仙台橋本ビル9階)

- ・開催回数 4回
- ・来場者見込 60名

開催日

4月11日、7月11日、10月10日、1月9日

講師

華園聰麿(東北大学名誉教授)、佐々木邦世(中尊寺仏教文化研究所長)

丸田善明(岩手真宗会館館長)、高橋哲秋(曹洞宗観林寺住職)ほかの方々

2. 出版物の刊行

在家者に対する仏教思想普及に関する出版物の刊行については、本年度は以下のような雑誌及び書籍を出版、販売する。

1) 月刊誌「在家佛教」

毎月1回発行、A5判100頁、定価453円(本体価格419円)

平成26年5月号(744号)から平成27年4月号(755号)まで

年間54,000部(1カ月4,500部)

2) 既存書籍

協会創立 60 周年記念書籍 「悲喜をよろこぶ」・「掌を合わせて生きる」

加藤辨三郎著作

「いのち尊し」、「一字の力」、「教行信証のことば」、「日日あらたに」、「佛教と私」
「念佛のおすすめ」

金子大榮選集・著作

「阿弥陀経講話・正信偈講話」、「観無量寿経講話」、「大無量寿経講話・上」
「大無量寿経講話・下」、「歎異抄領解・歎異抄聞思録・上」、「歎異抄聞思録・下」
「人・佛」、「ありがたさについて」、「雑想観」、「念佛と人生」、「凡夫のさとり」
「光輪鈔」

写真と文集 「ブツダの道」

3. 行事の実施

在家者に対する仏教思想普及に関する行事については、以下の事業を実施する。

1) 在家仏教古寺巡りの会

平成 26 年 10 月 29(水)・30(木)・31 日(金) 山形県

2) 在家仏教坐禅の会

平成 26 年 10 月 9 日(木) 日帰り

会場: 曹洞宗大本山總持寺(横浜市鶴見区)

4. その他目的を達するために必要な事業

- 1) 「在家佛教」誌バックナンバー(過去号)の電子化
- 2) 「在家佛教」誌やその他書籍類の広告掲載
- 3) 会員、講演会参加者との双方向での情報共有の場を設定
- 4) インターネットホームページの内容の充実

5. 消費税増税への対応

雑誌、書籍: 本体価格 × 1.08 (円未満四捨五入)

在家佛教誌: 453 円 (本体価格 419 円)

会費、定期購読料: 据置き

賛助会員: 1 口年額 17,000 円

正会員 : 年額 8,000 円

購読料 : 1 年 5,500 円 (消費税送料共)

6. 講演会(東京会場)の一部内容の変更

1) 変更の要点

第2、第4土曜日に開催している東京会場での講演会のうちの第4土曜日での開催では、テーマを設定し、それに沿った形での講演会を一定期間連続していく。

2) 理由

① 協会活動の活性化

カルチャースセンター等でも仏教関係の催しが多くなってきているので、講演会を魅力的なものにするための工夫が必要である。東京会場の仏教の学びの場をより豊かにする。

② 聴講者からの要望

協会会員や講演会に定期的に参加される方、購読者の中には長年仏教に関心を持って学んでいる方も少なくない。この層の中には単発での講演だけでなくテーマを固定して、内容を深めた話を聴きたいとの希望を持たれている方もいる。

③ 協会を支える新たな層の発掘

長年協会を支えて下さった方が高齢化により退会していく中で、新たな層を発掘し、会員購読者の増加に繋げる。

④ 在家者が期待する仏教の学びを提供

新しい層を掘り起こし拡大するためには、仏教に関心のある方々の意識や必要性に適した活動、教えの場の提供が必要である。

3) 平成26年度の連続講演会の骨子

① 標題

「鈴木大拙を読み直す」

② 理由

鈴木大拙は世界へ仏教を紹介し、禅と浄土教の両面から研究を重ねるなど、近代日本の仏教に多大な貢献を果たした。没後約半世紀を迎えた現在、近代日本と世界という二つの足場の上に仏教に取り組んだ鈴木大拙の教えから学べることは少なくない。

③ 講演会の運営面

講演者は、話の内容に関連する鈴木大拙の著書を事前に参考図書として指定し、参加者にはその著書を自ら読むことにより、教えを深く学ぶ。

④ 開催期間:平成26年6月から平成27年5月の10回程度

コーディネーター:菅原伸郎先生(元朝日新聞「こころ」編集長)

講師:竹村牧男先生(東洋大学学長)、西村恵信先生(花園大学名誉教授)

本多弘之先生(親鸞仏教センター所長)、重松宗育先生(臨済宗妙心寺派承元寺住職)

末木文美士先生(国際日本文化研究センター教授)